はぁと・ほっと☆弥生

第３５号
2024年2月発行
弥生が丘自治会
広 報 部

『誰だって、助けてもらう時が来る、できる今、助けあえる喜びを』

新年を迎えて

自治会長　上野　裕己

新年明けましておめでとうございます。日頃は自治会活動に、ご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

今年は新年早々最大震度7を記録する「能登地震」が発生。200名を超える人命が奪われ、数多くの家屋が倒壊、津波によって大切なものを流され、多くの方々が今なお避難所生活を余儀なくされています。あらためて被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。

不自由な避難所生活を送っておられる皆さんがお互いに助け合い、励ましあっておられる姿に感銘を受けるとともに、もしこのような災害が私たちの身に降りかかった場合、私たちは、はたして寄り添い、励まし、みんなで前を向く事が出来るのか考えさせられました。私は苦しんでいる人に手を差しのべ、共に前を向いて生きていける基本は「地域の絆」ではないかと思いました。

また翌1月2日には日航機と海保機との接触事故。日航の乗務員の日頃の訓練のおかげで、炎上した日航機の乗客乗員379人は無事に脱出。世界からも「奇跡」と称されました。

自治会は毎年防災訓練をおこなっておりますが、今回の事故の報道に接し、訓練の必要性を痛感するとともに、「今年からは今まで以上に多くの地域住民の方々が参加していただけるようにしなければ」そんなことを考えさせられた正月でした。 これからも地域の人と人との絆を大切に、お互いが苦しい時に寄り添える地域づくりを目ざし頑張りたいと思います。これからもご協力よろしくお願いします。

～明るく住みよい安心・安全のまちづくりを～

地域の皆さんから自治会に寄せられた声は、役員会、運営理事会で協議し、市に要望を上げています。又、利便性向上等を考慮し、自治会独自でも取り組みました。主に以下のことが整備、改善されました。

- 歩道の設置されていない準幹線（5 丁目・6 丁目）にグリーンベルト（路側帯）の設置
- 防犯灯のLED化を市へ提案し、全市内で実施
- 市道の舗装修繕・歩道橋（主にシオン橋）のタイル舗装の修繕
- 人博からイオンにかけての滑り止め舗装
- 大きくなり過ぎジャマになった市道の植栽の剪定および伐採
- 幹線道路（歩道）の根上がりによる破損個所修理
- 横断歩道の機器の交換・道路の安全利用の注意標識の設置
- 深田公園の遊具の改善・更新・健康遊具の新設
- 深田公園の使えなかったトイレが使用できるように改善された
- まちづくり協議会との協働で、『やよい夢ひろば』が市民提案事例第1号として完成
- 各ごみステーションで全ての種類の家庭ごみ（蛍光管・乾電池を除く）の収集を開始
- 蛍光管・乾電池の収集は市民センターに加え、弥生コミセンでの収集を可能にし、利便性を向上させた
- リサイクルデー（新聞、雑誌、ダンボール、アルミ缶、衣類の収集）を拠点回収から戸別回収に移行した
- スプレー式消火器の全戸配布や、コロナ初期にマスクの全戸配布を実施

今後とも私たちの弥生が丘が、より安全・安心で住みよいまちになるように自治会活動を地道に続けて行きますので、よろしくお願いします。ご意見、ご要望をお寄せ下さい

弥生が丘に思いを馳せて

弥生小学校長　松下　修

弥生小キャラクター

昨春、弥生小学校に着任し25年ぶりに見た運動場の桜は、三田でも有数の枝ぶりとなり、満開の花を咲かせていました。学校と地域のつながりも桜と同様に大きく深いものとなっていました。地域の皆さんから温かい協力をいただいている登下校の見守り、総合的な学習や生活科でのゲストティーチャー、弥生ファーム、寺子屋、アリスの会、子どもたちが楽しみにしているふるさと祭りなど、地域の皆さんが子どもたちと接しておられる姿から、弥生が丘を長い間大切に育ててきたことへの自負、そして未来を創る子どもたちへの期待など、深い郷土愛が伝わってきます。

これから弥生の子どもたちは、よりよく生きていこうと多くのことを学び、様々な世界に巣立っていくことでしょう。やがて大人になり、仕事や子育てで、うまくいくときもあれば、悩むこともあるでしょう。悩んだ時には、弥生が丘に戻ってきて、多くの人たちとのつながりの中で、大人になったことを思い出して、元気をもらってほしいです。弥生が丘は、弥生っ子のふるさとです。

日頃から連携を！

４丁目地区長　庄司　和人

私が30年程前に副地区長（当時副会長）をしていた時発生した阪神淡路大震災をきっかけに、防災に関して以前とは違い、より具体的に対策を考えるようになり、近隣の協力や助け合う意識が高まっているように感じます。もし、災害が起これば日頃から連携できる関係の構築が必要だと思われます。さらに高齢化が進む中、今こそ地域交流の絆が重要だと考えます。

この地区でお世話する立場になったのも、将来につながる役目だと考え、これからも地区の一員として、協力していきたいと思っています。

～各部からの事業報告～

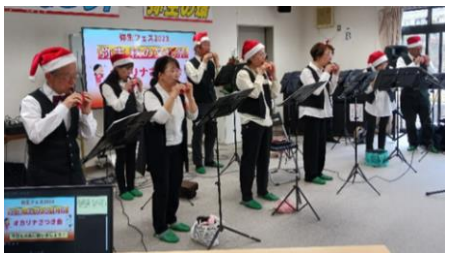
楽しかったな！！ 弥生フェス

イベント部

12 月 3 日(日)、第 3 回「弥生フェス2023」を「秋の文化祭」と銘打ってコミセンで開催しました。

- 小会議室では**囲碁クラブ「囲碁よろしく」**があり、小学生の参加もありました。
- 多目的室の**「弥生折り紙の会」**では干支の辰やクリスマスリースを作った他、会員が折ったドラゴンやバラや何百枚の折紙ユニットからなる作品をプレゼントし喜ばれました。

- 大会議室では日頃から地域活動に頑張っていただいている登録団体（音楽関係）の発表がありました。一番手は、**「やよい歌ごえ広場」**でギターを中心とした生伴奏（841 バンド）により童謡唱歌懐かしの歌謡曲を歌いました。次は**「オカリナさつき会」**でキレイな音色と絶妙なおしゃべりに酔いしれ、その後カラオケの陽気な歌声、熱唱が聞こえて来て楽しい、賑やかなひと時をすごしました。



- サロンでは、**「人権標語展」**（応募作品のお気に入り投票）と**「ふるさとまつり映像展」**（懐かしい祭りの写真とかみなり小僧のフレンドイラスト）を行いました。

やよい歌ごえ広場

１丁目　木下　豊子

弥生フェスの歌ごえ広場に参加いただきありがとうございます。
いつも皆さんの歌声にパワーを頂いています。今年も色々なジャンルから選曲しました。
歌を歌うと元気になる！歌を聴くと癒される！今後も”音” を楽しんで、みんなで元気に歌いましょう！

弥生折り紙の会

２丁目　高谷憲子

折紙のコーナーでは沢山の幼稚園児、小学生の子ども達が参加しました。準備していた見本のサンタクロース、ツリー、起きあがりこぶし、ペンギン等の折紙作品の中から、各自作りたいものを選び、折るのがちょっと難しい低年齢の子は、家の方にも手伝ってもらい完成させました。中にはポインセチアを8個折って組み合わせていく根気のいるリースを仕上げた子もいました。改めて子どもは頭が柔軟で覚えが早いことを認識、子どもたちから元気を一杯もらい楽しいひと時を過ごしました。

クリスマス会 2023

12 月 9 日(土)、子ども会の「クリスマス会 2023」を開催しました。52 名の子ども達が参加し、保護者の皆さんの指導でクリスマスリース・オーナメント作り、コミセンにある手作りツリーへの飾り付けを行いました。徐々にクリスマスの雰囲気が盛り上がり、子ども達の元気いっぱいのクリスマスソングで会場の雰囲気は最高潮。その後、鈴の音とともに現れたサンタクロースとトナカイさんからクリスマスプレゼントをもらい大変楽しい 1 日となりました。

クリスマス会では 3 つの大きなリースを作り、1 つはコミセンの玄関に飾り、残り 2 つは日頃からお世話になっている“地域の皆さんへの感謝”を伝えようとフラワータウン交番と市民センターに贈呈しました。

6 年生がお巡りさんに手渡す様子は神戸新聞にも掲載されました。

～クリスマス会に参加して～

〇今年もたくさんの子ども達がクリスマス会に参加し、とてもにぎやかな会となりました。今回はみんなで楽しくストローで個性あふれるクリスマスのオーナメントや、地域の皆さんの協力で集まった松ぼっくりや、どんぐり、赤い実などで飾ったリースを作りました。リースはコミセン玄関に飾った他、日頃お世話になっているフラワータウン市民センターや交番にも届ける事が出来ました。最後はみんなでクリスマスの歌、子ども達の明るい元気な歌声が聴かれ、私たちもうれしい気持ちになりました。この会が子ども達にとって貴重な経験になり、弥生が丘の楽しい思い出のひとつになればいいなと思いました。（3丁目　森本ひろみ）

〇かわいい星とかわいい雪だるまをあしらった素敵なオーナメントが作れて良かったです。最後はみんなでクリスマスの歌を歌ったときは、みんな楽しそうに大きな声で歌っていて私も楽しくなりました。（4 年:野口　桃華）

〇ワクワク楽しいクリスマス会。また参加したいです。サンタさんとトナカイさんからプレゼントをもらえて嬉しかったです。（2 年:森本　祥雄）

年末防犯パトロール

防犯部

12月25日～27日の3日間、延べ 22 名が参加し、年末恒例の防犯パトロールを実施しました。

20時コミセンをスタートし、拍子木をたたきながら「火の用心」の掛け声で弥生が丘地域内を約1時間かけて巡回しました。4歳と7歳の小さなお子さんが参加し「楽しい！楽しい！」と言いながら元気よくパトロールする姿に参加者も元気づけられました。参加者の皆さんありがとうございました。

～関係団体から～

「とんど焼き」を終えて

少年野球コーチ OB 会　岡　潔

お正月を締めくくる行事として正月飾りなどを焼く「とんど焼き」を1月日(日)に行いました。書き初めを燃やした火が高く上がることで「字が上手になる」、燃やした灰を持ち帰り玄関に置いて「家内安全」「家族の無病息災」のご利益があるなどの言い伝えがあるようです。

前日からの準備は大変なのですが、多くの地域の皆さんが集まって楽しそうにお話をされ笑顔で帰って行かれる姿を見ていると、来年も参加しようと思います。

また、老人クラブ弥生会の方が豚汁を振舞ってくださり、「とんど焼き」が一段と盛り上がりました。昨年末にはOB 会有志でコミセンの玄関前に門松を飾りましたが、このような伝統行事がもいつまでも大切にされる弥生が丘になること願っています。

～楽しいひととき～

ふれあい活動推進協議会

12 月 15 日(金)、2023 年の締めくくりとなる「ふれあいの集い」を開催しました。第 1 部はフラワー地域包括支援センターの藤原センター長による講話で、皆さんの心身に寄り添うお話を聞かせていただきました。

第 2 部は女声コーラス「フラワーエコー」の皆さんに出演していただきました。四季折々にふれた唱歌や、「東京ブギウギ」などの懐メロ、きよしこの夜など 3 部構成のプログラムでコーラス、ピアノソロ、ソプラノソロ、そして会場の皆さん(39名)との合唱で大いに盛り上がりました。

初めてのオアシス居酒屋へ！

1丁目　真本　麻衣

コミセンの前を通ると、時々「居酒屋」の赤い提灯。ずっと気になっていたので幼稚園のママ友を誘って3人で行ってみました。ドキドキワクワクで中へ入ると皆さん楽しそうにお話をされていて、緊張しながら席に座りましたが、色々な方が声をかけてくださり、知らない間に緊張もほぐれてお酒も進み、たくさんの人とお話ができてとても楽しかったです。

弥生が丘の話もいろいろ聞けて勉強になりました。そしてもっと早く来れば良かったと後悔。これは私にとって月1回の恒例の行事になりそうです！！本当に楽しくて、こんなに素敵な企画を考えた人がすごいなと思います！！！一度行ってみたいけど行きにくいな～と思っている人がいれば、「そんな不安はいらないのですぐ足を運んで下さいと言いたいです。来月も楽しみにしています。

日帰り研修バス旅行　加西市うずらの飛行場～灘菊酒造～姫路好古園

老人クラブ・弥生会

12月6日(水)、弥生会会員一行30名は大型観光バスで研修目的地、加西市にある「うずらの飛行場」めざし、いざ出発!! 参加者はパイロット養成の「うずらの飛行場」跡、実際の防空壕、資料館に保存されている実物大の「紫電改」の見学はじめ、現地ボランティアガイドの説明を聞き、第2次世界大戦の悲惨さを身に染みて感じました。そして二度と過ちを繰り返さないとの決意で「うずらの飛行場」を後にし、充実した研修となりました。弥生が丘の皆さん、是非行ってみる価値ありです。

昼食は「灘菊酒造」の酒蔵にある膳処で、とろけるような但馬牛の牛鍋を堪能。お土産店では1本1万円以上もする純米吟醸を購入された参加者も･･･。多種多様のお酒も試飲させていただきました。

午後からは、世界遺産姫路城「好古園」で紅葉真っ盛りの園内をゆったりと散策。

5時過ぎ、両手にお土産を抱え、無事全員コミセンに到着。お疲れさまでした。

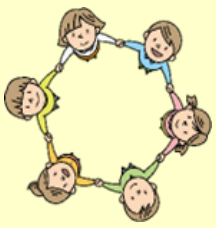
～今後の予定～

6 年生を送る会

子ども会

3 月 9 日(土)14時～子ども会主催の「6 年生を送る会」を開催します。今回子ども会を卒業される 6 年生は 19 人です。いろいろお世話になった 6 年生が卒業されることは寂しくもありますが、皆さんで思い出に残る「6 年生を送る会」にしましょう。

※受付:2月 13 日(火)から　※対象:年長～6 年生の会員　※定員:先着 60 名



弥生が丘コミュニティセンター

〒669-1546　弥生が丘2丁目21　☎/Fax:079-562-0434

E－mail:ya54278@xa3.so-net.ne.jp

公式ホームページ閲覧方法＝**【弥生が丘自治会】**で検索